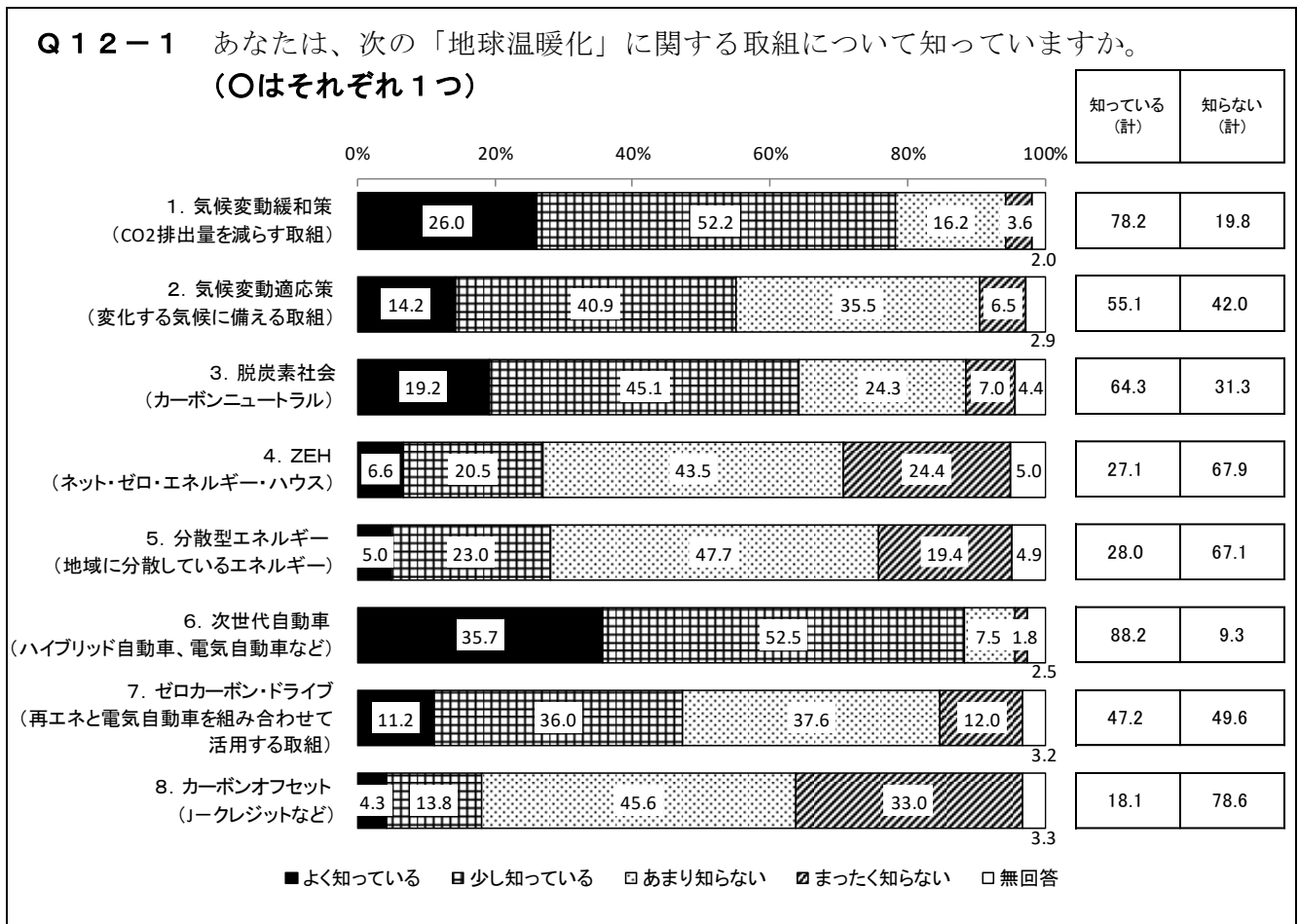


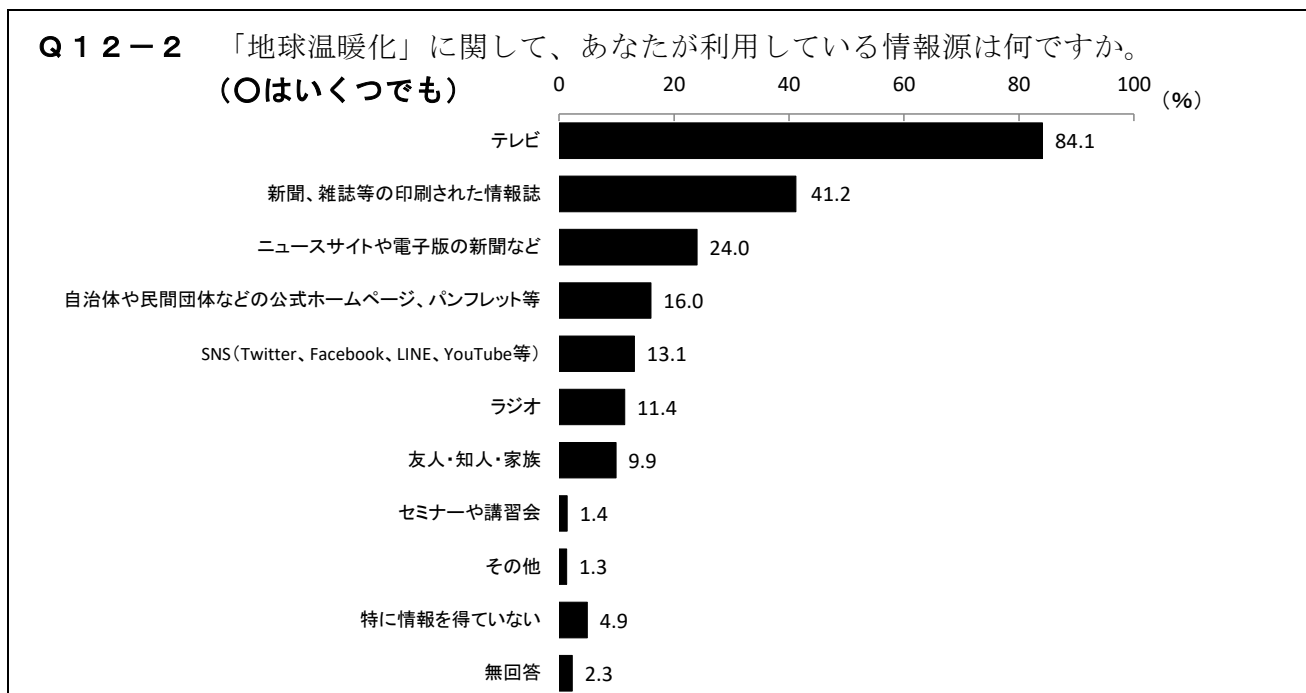
## 1 2. 地球温暖化対策について

### 1 2 - 1. 「地球温暖化」に関する取組の認知度



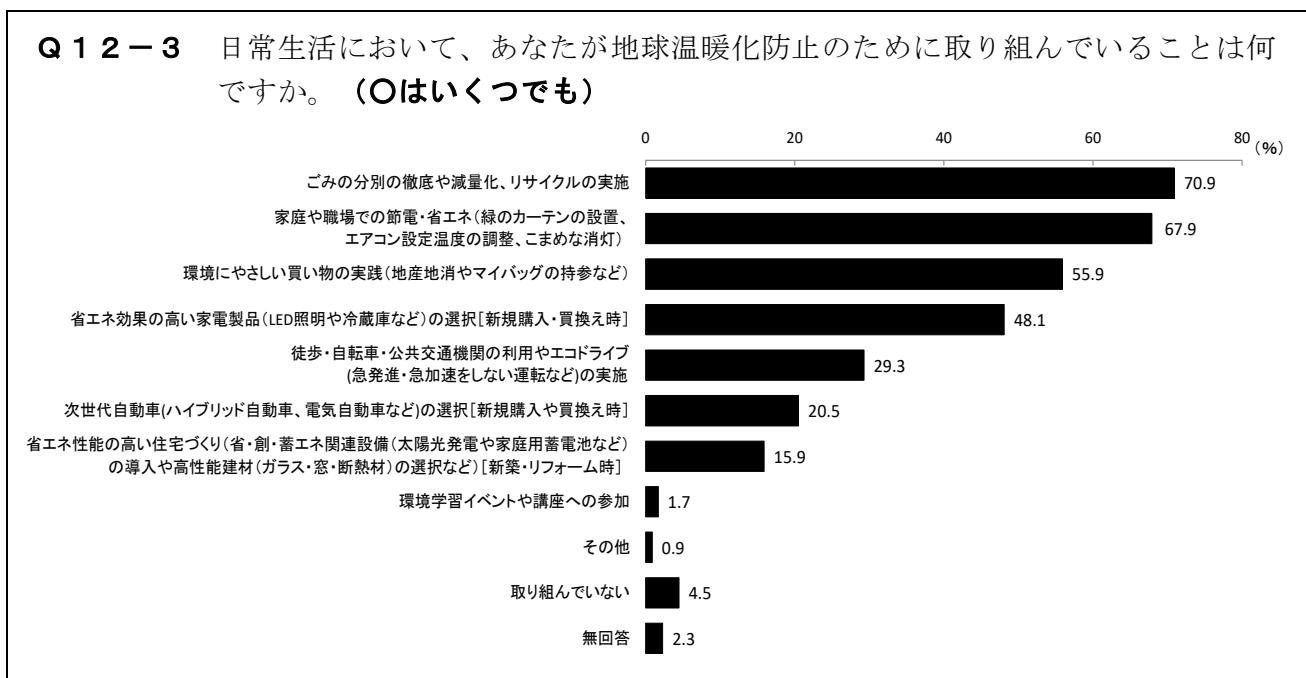
「地球温暖化」に関する取組の認知度について、「よく知っている」と「少し知っている」を合わせた『知っている(計)』の割合は、「6. 次世代自動車(ハイブリッド自動車、電気自動車など)」が88.2%、「1. 気候変動緩和策(CO2排出量を減らす取組)」が78.2%、「3. 脱炭素社会(カーボンニュートラル)」が64.3%などで高くなっている。一方、「まったく知らない」と「あまり知らない」を合わせた『知らない(計)』の割合は、「8. カーボンオフセット(J-クレジットなど)」が78.6%、「4. ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)」が67.9%、「5. 分散型エネルギー(地域に分散しているエネルギー)」が67.1%などで高くなっている。

## 12-2. 「地球温暖化」に関して、利用している情報源



「地球温暖化」に関して利用している情報源について、「テレビ」が84.1%と最も高く、次いで「新聞、雑誌等の印刷された情報誌」が41.2%、「ニュースサイトや電子版の新聞など」が24.0%の順となっている。

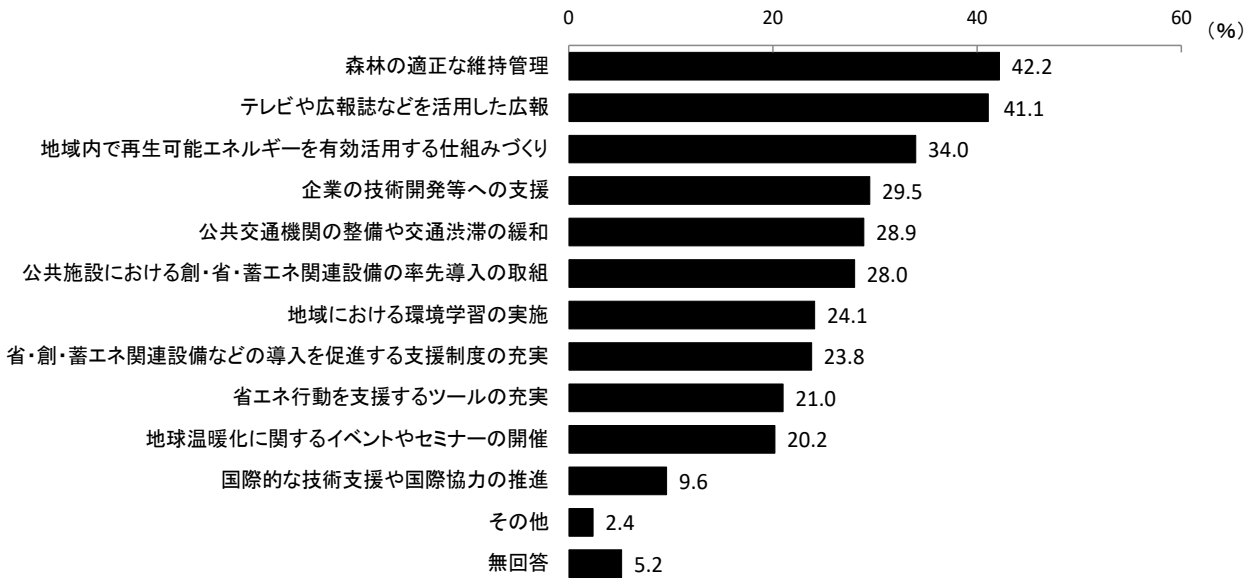
## 12-3. 地球温暖化防止のために取り組んでいること



地球温暖化防止のために取り組んでいることについて、「ごみの分別の徹底や減量化、リサイクルの実施」が70.9%と最も高く、次いで「家庭や職場での節電・省エネ(緑のカーテンの設置、エアコン設定温度の調整、こまめな消灯)」が67.9%、「環境にやさしい買い物の実践(地産地消やマイバッグの持参など)」が55.9%の順となっている。

## 12-4. 地球温暖化防止のために行政機関が強化すべき取組

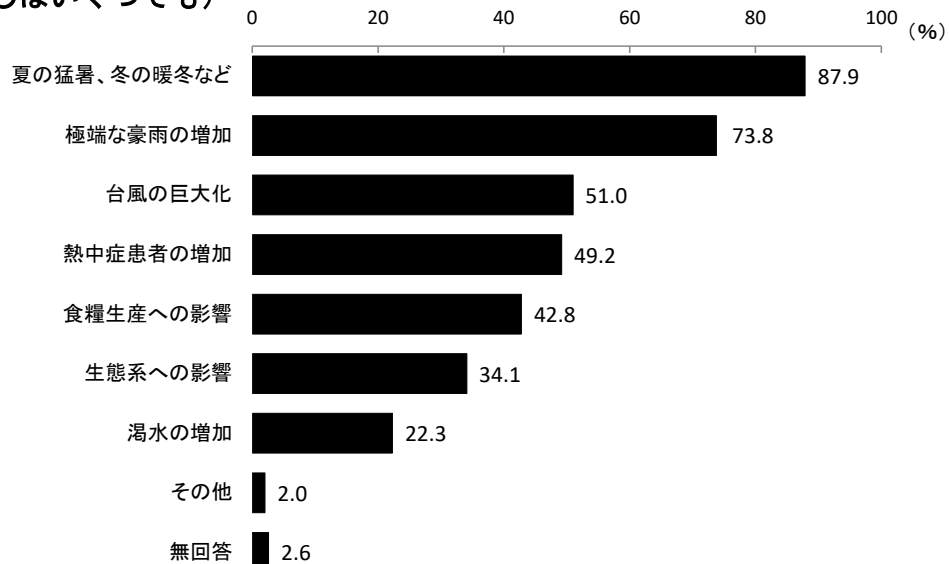
Q12-4 あなたは、地球温暖化防止のために、行政機関（県や市町）はどのような取組を強化すべきと思いますか。（〇はいくつでも）



地球温暖化防止のために行政機関が強化すべき取組について、「森林の適正な維持管理」が 42.2%と最も高く、次いで「テレビや広報誌などを活用した広報」が 41.1%、「地域内で再生可能エネルギーを有効活用する仕組みづくり」が 34.0%の順となっている。

## 12-5. 身近に感じる地球温暖化による気候変動の影響

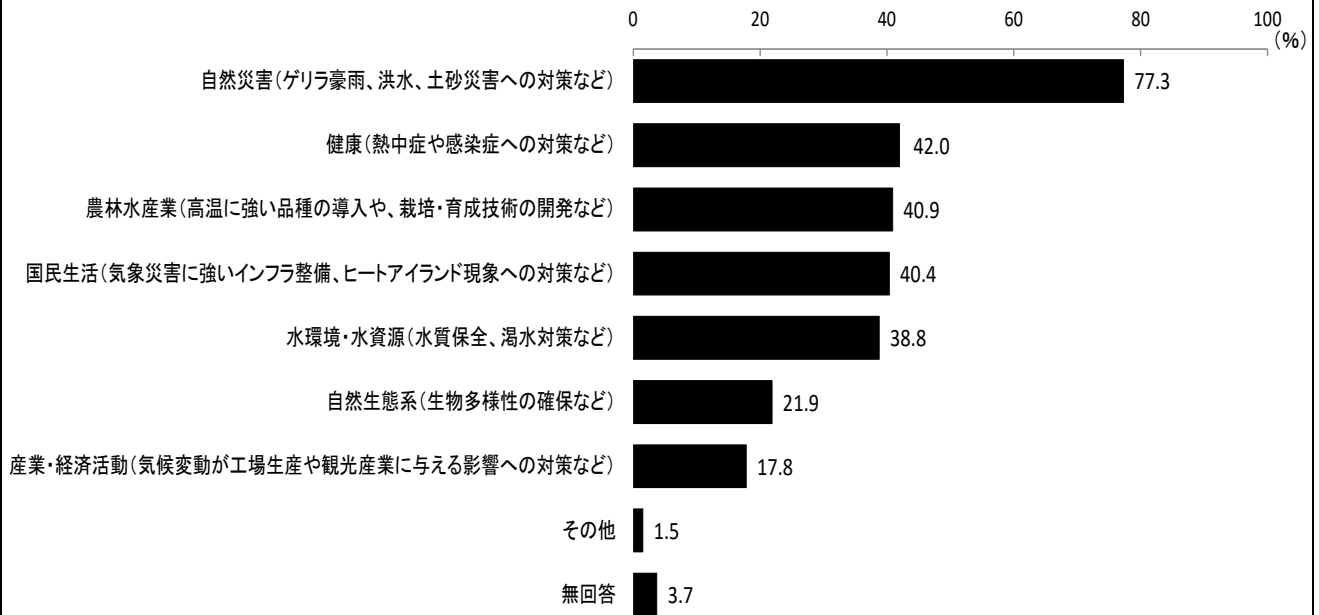
Q12-5 あなたはが身近に感じる地球温暖化による気候変動の影響は何ですか。（〇はいくつでも）



身近に感じる地球温暖化による気候変動の影響について、「夏の猛暑、冬の暖冬など」が 87.9%と最も高く、次いで「極端な豪雨の増加」が 73.8%、「台風の巨大化」が 51.0%の順となっている。

## 12-6. 行政機関が優先的に進めていくべき取組の分野

**Q12-6** あなたは、地球温暖化による気候変動の影響に対処（適応）するために、行政機関（県や市町）はどのような分野の取組を優先的に進めていくべきと思いますか。（〇はいくつでも）



行政機関が優先的に進めていくべき取組の分野について、「自然災害（ゲリラ豪雨、洪水、土砂災害への対策など）」が 77.3%と最も高く、次いで「健康（熱中症や感染症への対策など）」が 42.0%、「農林水産業（高温に強い品種の導入や、栽培・育成技術の開発など）」が 40.9%の順となっている。